失うもの（喪失）について
（2022．3.12）

ロシアのウクライナ侵攻（侵略）の衝撃が強く、戦争の問題に話が集中した

国家の喪失、民族の喪失

アイデンティティーの喪失

生存の場、居場所の喪失

国家が侵略を受け、「生きるべきか死ぬべきか」の問いを突き付けられた→『生きるべき』であり、自由になるべきの結論→「われわれは決して降伏せず、決して敗北しない」（ゼレンスキー英議会演説）

ウクライナのアイデンティティーを世界に向けて表現し、共有支持

プーチンの戦争、プーチンの怒り

プーチンの喪失感とは何か

ロシアのアイデンティティー復活→大ロシア主義

力の均衡の喪失、ソ連崩壊時の約束がほとんど「反故」にされた→怒り

ロシア国民の支持

第2次世界大戦時の日本の状況に似かよう

記憶、関係、自信・・その中で民族が紡ぎあげてきたもの

災害という点で酷似しているが、人為か自然かという点で異なる

戦争はなぜなくならないか

なぜ相手の言うことを聴けないか

人はなぜ戦争をするのか（行動）

大きなテーマ

死の欲動：自分を殺したい、他人を殺したい

フロイトのリビドーの仮説

「文化によって戦争は防ぐことができる」か

平和憲法はよくないか？

東日本大震災→命や財産を失う

「ふるさと」の破壊と巨大な喪失

大切な人を失う。伴侶、子供、親、友人の死・・・

ペットの死

自分を育んだ自然、街並み、風景を失う

いままであった関係やつながりを失う

職を失う

原発事故により、帰りたくても帰れない

共同幻想の喪失

個人の死→生命の喪失

心臓が止まり意識を失う永遠に

生物としての自己構造化の力の喪失

世界の喪失

自然の循環に還る

自分（自己）を見失う

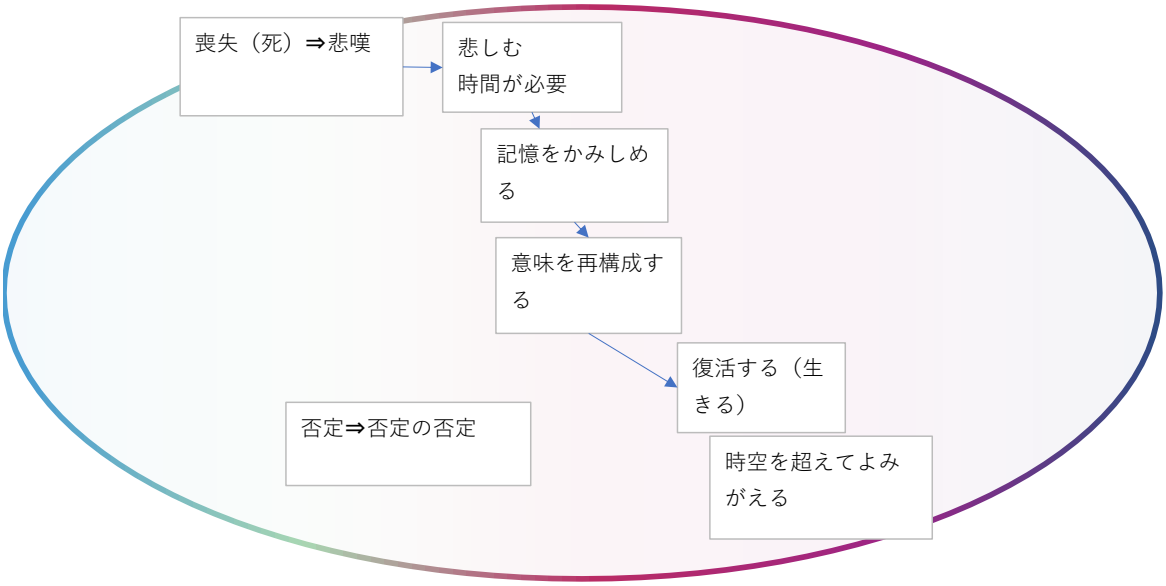
とらわれる

自分の位置

恋愛、宗教

周囲の評価

承認を求める


喪失（死）⇒悲嘆
悲しむ
時間が必要
記憶をかみしめる
意味を再構成する
復活する（生きる）
時空を超えてよみがえる
否定⇒否定の否定